

令和7年度 第10回 小栗地区語らん場

令和7年10月23日開催

諫早市南部地域包括支援センター

TEL : 0957-35-2887

生活支援コーディネーター：坂田 ちひろ

小栗地区の自治会長、民生委員をはじめ様々な団体で地域活動に携わる皆さんや地域に根付く介護保険事業所の方など計32名に参加いただき、小栗地区語らん場を開催しましたので報告いたします。

住民の声

<声かけ>

- ・外であつたら必ず声かけや挨拶をしている。
- ・家同士が離れている分、ご近所同士で気がけて声をかけている。
- ・遠方の家族から「何かあったらすぐ連絡ください」とお願いされていて、家族ぐるみでの顔見知りの関係が出来ている。
- ・地域の子どもたちも「犬に触っていいですか?」と言って挨拶してくれる。

<サロン等の地域活動>

- ・サロンを開始して1年。これまで閉じこもり傾向であった方もサロンに参加することでいきいきとなり、他の地域活動にも参加するようになった!
- ・今後もサロンに参加して地域の人たちと交流していきたい!

<課題>

- ・新しく引っ越してきた方との関わりはきっかけがないと難しい...
- ・移動問題が解決したら、サロンに参加できる人はもっと増えるのでは...

☆ “見守り” という感覚ではなく “気がけている” ことの積み重ね
☆ 支援が必要な方でも自立を阻むことの無いような支援を!

SCより

小栗地区は市の中心部に近い場所に位置している町もあり高齢化率が南部エリアのうち唯一市の高齢化率よりも低くなっています。しかし、高齢化率が50%を超えている町もあり地域内での格差がある地域です。そして、住宅密集地もあれば家同士が離れている地域があるため、今回の語らん場を通して見守りをする方法も町によって様々であることが分かりました。今後も語らん場では地域について住民さんなど様々な立場の方々と語っていきながら住みやすい小栗地区を作っていきたいと思います。

「今回のテーマ」

「見守り」

～地域の中で実際にある

助け合いや見守り教えてください!～

